

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4057

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化
							分野施策	010404	食の安全・安心の確保
<p>1 事業の概要</p> <p>県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP(S-GAP)の仕様を策定し、担い手の拡大を推進する。</p> <p>事務費の節減による減額</p> <p>(1) GAP普及事業 357千円</p> <p>(2) S-GAP策定事業 1,406千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア GAP普及事業 3,937千円</p> <p>GAP普及のため、生産者への説明会や指導者の育成を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心農産物推進説明会の開催(1回、200人) ・GAP地域説明会の開催(各農林振興センター1回、各60人、計8回) ・S-GAP指導者説明会の開催(1回、100人) <p>イ S-GAP策定事業 3,329千円</p> <p>S-GAPの仕様策定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S-GAPの仕様の仮策定、本策定 ・S-GAP検討委員会の開催(計10回、委員10名) ・S-GAP実務者会議の開催(計10回) ・モデル農家によるS-GAP仕様仮策定の実証(3農家) 					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				<p>(2) 事業計画</p> <p>GAPの普及、S-GAPの仕様策定、モデル農家での実証</p> <p>【目標】平成28年度までに6,000戸の農家がS-GAPに取り組む。</p>					
3 地方財政措置の状況 なし				<p>(3) 事業効果</p> <p>GAPの普及により、県産農産物の安全性が向上する(GAP普及率の上昇)。</p> <p>県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。</p>					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし				<p>(4) その他</p> <p>JAグループはS-GAPを共同販売の荷受要件とすることを検討、県と協調して推進を図っていく。</p>					
				<p>(5) 補正予算の概要</p> <p>GAP普及事業：大雪対策による、農林振興センターの普及推進体制が遅れたことに伴う需用費などの減額。</p> <p>S-GAP策定事業：検討委員会を実務者会議で代用したことによる報償費等の減額。</p>					
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,763							1,763	5,503
現計額	7,266							7,266	